

平成27年度 教職員による学校評価

回答数: 57名

1. よく当てはまる 2. だいたい当てはまる
3. あまり当てはまらない 4. 当てはまらない

質問事項		1	2	3	4
学習指導	1 基礎・基本を重視し、授業の質の向上に努め学力の向上を図る。	16	36	4	0
	2 55分授業について、教科・科目の特性をいかした授業展開のより一層の創意工夫を図り、生徒の学習意欲と着実な学力向上を図る。	16	33	6	1
	3 学習オリエンテーションなどで早い時期からの学習への動機付けを図る。	9	33	14	1
	4 研究授業、研修会、授業評価、シラパスの活用による授業力の向上を図る。	10	32	13	2
	5 授業理解度の向上を図る。	12	38	4	2
生徒指導	1 基本的な生活習慣の確立と他を思いやる心を育むなど、人間教育を推進する。	10	38	8	0
	2 規範意識の醸成に努め、事故や盗難などのない安全・安心な学校づくりを推進する。	15	38	4	0
	3 挨拶や端正な制服の着用、交通ルールの遵守等、地域社会から評価される態度を養う。	11	40	5	1
	4 部活動、学校行事、生徒会活動などへの積極的な参加を促進する。	18	35	4	0
進路指導	1 生徒の自己理解を深め、生き方・在り方指導としての「志教育」を推進する。	7	32	13	4
	2 3年間を見通した系統的・組織的な進路指導の推進と進路に関する研修機会の設定を推進する。	6	37	11	2
	3 国公立大学(旧帝大を含む)や難関私大などに現役で合格できる能力と態度の育成。	8	34	14	1
国際性	1 郷土と日本の自然や文化の理解を深め、後世に継承しようとする態度を養う。	3	19	29	5
	2 SELHIや教育課程研究指定事業から受け継いでいる英語教育・国際教育のメリットをいかし、将来国際社会で活躍できるような資質や能力を培う。	11	31	13	0
保健衛生	1 生徒並びに教職員の心身の健康と増進を図る。	9	40	5	2
	2 校舎内外の美化に努め、豊かな教育環境の保全を図る。	8	35	9	4
	3 スクールカウンセラーと連携をさらに深め、教育相談活動の充実を図る。	13	35	9	0
安全・危機管理	1 東日本大震災の教訓を生かし、防災教育をとおして日常の安全点検や避難訓練の充実を図り、地域社会と連携してより安心・安全な学校を目指す。	8	33	13	2
	2 交通安全の意識高揚を図り、事故の未然防止に努める。	11	40	4	1
職場環境	1 課題に着実かつ的確に対応していくためには、学校が一つの組織体として有機的に機能しなければならない。そのために情報の共有化の徹底を図る。	9	34	12	1
	2 教職員の連携がスムーズに図られるよう報告・相談・連絡・確認を心がける。	9	34	11	2
総務部	1 校務運営が円滑に運営されるよう、環境整備に努める。	9	39	5	2
	2 活力溢れる校風を醸成するよう努める。	8	34	12	1
	3 地域社会や保護者・同窓会との連携を密にし、協力関係を形成するよう努める。	9	35	9	2
	4 図書館の整備・図書の実用と読書活動の推進に努める。	13	35	6	1
	5 視聴覚室の適正利用の促進に努める。	6	36	11	2
教務部	1 基礎・基本を重視しながらも、授業の質の向上に努め生徒学力の向上を図る。	14	37	3	1
	2 自学自習の学習態度を養い、学習時間の確保と家庭学習の充実を図る。	13	33	7	2
	3 校務の効率化、合理化を図り教材研究の時間の確保に努める。	6	29	17	3
	4 教育課程の点検に努める。	9	34	10	2
生徒指導部	1 挨拶・制服の着こなしなどを通して地域社会から評価され、社会人として通用する基本的な生活習慣を身につけさせる。	12	36	7	0
	2 規範意識の醸成に努め、他を思いやる心をはぐくむ。	11	37	7	0
	3 教科外活動(部活動・生徒会活動・学校行事等)に積極的に取り組み、泉高生としての自覚と誇りを持たせる。	17	36	3	0
進路指導部	1 個性・適性の発見を促し、将来の生き方を探求させ、目標の早期確定と学力の伸長を図るよう積極的に指導援助する。	11	36	7	1
	2 大学入試制度等の情勢の変化に対応し、より有効・適切な情報を収集、作成し研修会などで提供する。	13	34	8	1
	3 生徒・保護者・地域の期待に応える進路指導体制を構築する。	11	35	10	0
	4 情報機器等の活用によるデータベースや資料の分析をとおして、適切な進路指導を行なう。	14	30	11	1
保健厚生部	1 保健教育の充実と積極的な健康管理の実現に努める。	13	35	6	1
	2 生活環境の整備と美化の推進を図る。	11	36	5	3
	3 防災教育・安全教育・危機管理に努める。	10	34	8	3
	4 教育相談の充実を図る。	13	32	8	2
教育企画部	1 本校が目指すべき学校教育の方向性を、中長期的な視点から問題を探り、改善に向けて教職員の合意形成を図る。	8	38	10	0
	2 生徒の生きる力を育てる「総合的な学習の時間」の充実を図る。	13	35	8	0
	3 教育の質を高める職員研修の充実を図る。	5	35	16	0
	4 現在と今後の社会情勢を踏まえ、本校の課題について調査・研究・分析および職員間での議論を行い、解決に向けた提案をし、その実現を目指す。	9	36	10	1
英語科	1 関連分掌・学年と連携しながら、英語科の専門行事である「宿泊研修」「海外研修」「英語科発表会」を企画し、効果的にこれを実施する。	15	35	4	0
	2 「実践的英語教育支援事業」を活用しより充実した教科指導を行なう。	15	36	3	0
	3 英語運用力を試すための外部英語テストを円滑に実施し、分析評価を行なう。	15	36	3	0
第1学年	1 その場に応じた礼儀や挨拶ができるようになること。また、基本的な生活習慣を身につけさせること。	10	35	7	1
	2 お互いを尊重し合い、仲間の絆を深めること。また、助け合いを実践することにより、それぞれの目標達成を実現することに邁進すること。	10	38	5	1
	3 将来に向けた高い目標を達成するために広い視野で物事をとらえ、自分自身で進路を決められるようにすること。また、それを実践するための努力を継続して実践すること。(学力の向上で力強く生きていくための人間力を高めること。また、将来良識ある社会人として活躍できるようにすること。)	10	31	12	0
	4 社会人として要求される基本的な生活態度を確立させる。	10	34	9	0
第2学年	1 自主的・主体的に考え、適切な判断と行動ができるように促す。	8	37	8	0
	2 自己の将来をより具体的に考え、適切な進路判断ができるように促す。	9	40	5	0
	3 計画的、継続的に学習に取り組む姿勢を確立させるとともに、学力の向上を図る。	9	37	7	0
	4 社会人として要求される基本的な生活態度を確立させる。	8	40	5	0
第3学年	1 自主的・主体的に考え、適切な判断と行動ができるように促す。	9	37	6	0
	2 進路目標の実現を目指して、最後まであきらめずに努力し続けられるよう支援する。	12	34	7	0
	3 計画的、継続的に学習に取り組む習慣を確立させるとともに、高校での学力の完成を図る。	11	36	6	0

